

EUROPEAN MOTOR SHOW 2015

モーターショー2015

最新型欧州車の最先端をレポート

WIDE FENDER PARADE

ワイドフェンダーは、
燃費効率を高めるか?

メルセデス・カイエンターボ/レンジローバー・ヴォーグ

THEORY

ワイドなSUVライフ

3/レンジローバー・ヴォーグ

EG4

エスフォー

EUROMOTIVE MAGAZINE

59

2015 NOVEMBER

刺激的でセンス溢れる
ユーロスタイルを提案します

MERCEDES CONNECTION

メルセデス・コネクション

メルセデス・ベンツC63AMGシューティングブレーク/
メルセデス・ベンツE250アヴァンギャルド/G500

VW CULTURE

ゴキゲン♪ワーゲン

ゲンキ♪フォルクスワーゲン

フォルクスワーゲン・シロココR/
ゴルフVII GTI/ゴルフVI R

Cover Story

AUDI RS7 SPORTBACK Facelift



[TOP ISSUE]

AUDI MORE & MORE

LOCK ON BMW

BMWをロックオン



LOCK ON BMW F10乗りは、このコンプリートカーに熱を上げる

CALL >> GARAGE EVE RYN OSAKA (ガレージエブリン大阪) [0723] 39-1760
 GARAGE EVE RYN SETAGAYA (ガレージエブリン世田谷) [03] 3707-3800 www.everyn.com
 ENERGY MOTOR SPORT (エナジーモータースポーツ) www.energy-ms.jp
 PHOTO >> RYOTA SATO (佐藤亮太)
 TEXT >> AKIO SATO (佐藤アキオ)

BMW 523i
 ×
 ENERGY COMPLETE EVO10.2

ONS // BMW 523i ENERGY COMPLETE EVO10.2
 Y MOTOR SPORT >> Individual Type 3 F:21×9.0J R:21×10.5J Finish:Polish Disk + Buffing Alumite Rim
 >> VENTUS V12 Evo F:245/35R21 R:285/30R21
 ENERGY MOTOR SPORT >> Sport Spring
 ENERGY MOTOR SPORT >> Stainless Muffler
 ENERGY MOTOR SPORT >> Body Kit Carbon Edition [Front Bumper/Carbon Lip Spoiler/Day Light Cover/
 Spoiler/Rear Under Spoiler Carbon Edition/Trunk Spoiler/10 Position Day Light]/Decolation Line



01 ボディキットの強烈イメージを足元で引き継ぐ、エナジーモータースポーツ・インディビジュアルタイプ3ホイール。21×9.0Jと10.5Jをポリッシュディスク+パフアルマイトリムでまとめた。
 02 EVO10.1よりアグレッシブなEVO10.2のFマスクには、片側10灯のLEDテイルライトも装備済み。
 03 ノーマルの真円片側2本出しマフラーをオーバル両側2本出しへと変える。リアアンダースポイラーはフィン付きのディフューザー形状を避け、マフラー出口上部にカーボンのアクセントを付けることで印象を残す。
 04 ユーロらしさを香らせるデコラインもエナジーモータースポーツの商品だ。
 05 このフォルム、今まではコンプリートでしか入手不可能だったが、今年からパーツの単品販売がスタートした。少しでもエナジーモータースポーツのテイストを入れたいと思う方に朗報。



「Mスポーツ以上、ショーカー以下」
 BMWのオリジナルコンプリートモデル専門ブランド・エナジーモータースポーツを擁するガレージエブリン世田谷のストアマネージャー・青木サンは、自社のF10コンプリートモデル「EVO10.2」をこう評してくれたのだが、このひと言にEVO10.2の魅力はそのまま集約されている。

お客様の好みのベースを探し出し、オリジナルのボディキットなどを組み付けて販売することで、理想の1台をローコストで提供する同社のシステムは、これまで差別化を求める多くのBMWオーナーから支持されてきた。で、ノーマルのままだとちょっと

おとなしめテイストのF10にピリッと刺激を加えたEVO10.1の成功に満足せず、さらにアグレッシブな最新の造形のEVO10.2へと進化を遂げてみせた。

毒気控えめなF10のスタイリングと激辛なEVO10.2のフォルムの組み合わせは、アタマで考えると混ざりにくいように思えるが、エナジーモータースポーツではデザイン作成をCADから始めるのではなく、クレイモデルからスタート。より立体的でリアリティのある方法を探ることで、クルマ全体とした見たときのバランスが徹底して考え抜かれ、取って付けた感あるエアロに見えない「コンプリートモデル」として生を受けるのだ。

だから、冒頭の青木サンの言葉のように、スポーツのエッセンスを振りかけたMスポーツ以上の充足感が得られ、かといって日常のドライブが照れくさくなるようなショーカーまではいかないという立ち位置に自然とナットクができてしまう。

さて最後になったが、ここでナイスなお知らせを1つ。これまでコンプリートモデルとしてしか市販されていなかったエナジーモータースポーツのパーツが、今年から単品でも発売されることとなった。となれば、現在BMWにお乗りのオーナーたちのモディファイの選択肢は、グッと広がりを見せるに違いない。

LOCK ON BMW エナジーモータースポーツという媚薬